

## わが国と欧米における ART の実施状況と臨床成績の比較

国際医療技術研究所 IMT College

荒木重雄

### はじめに

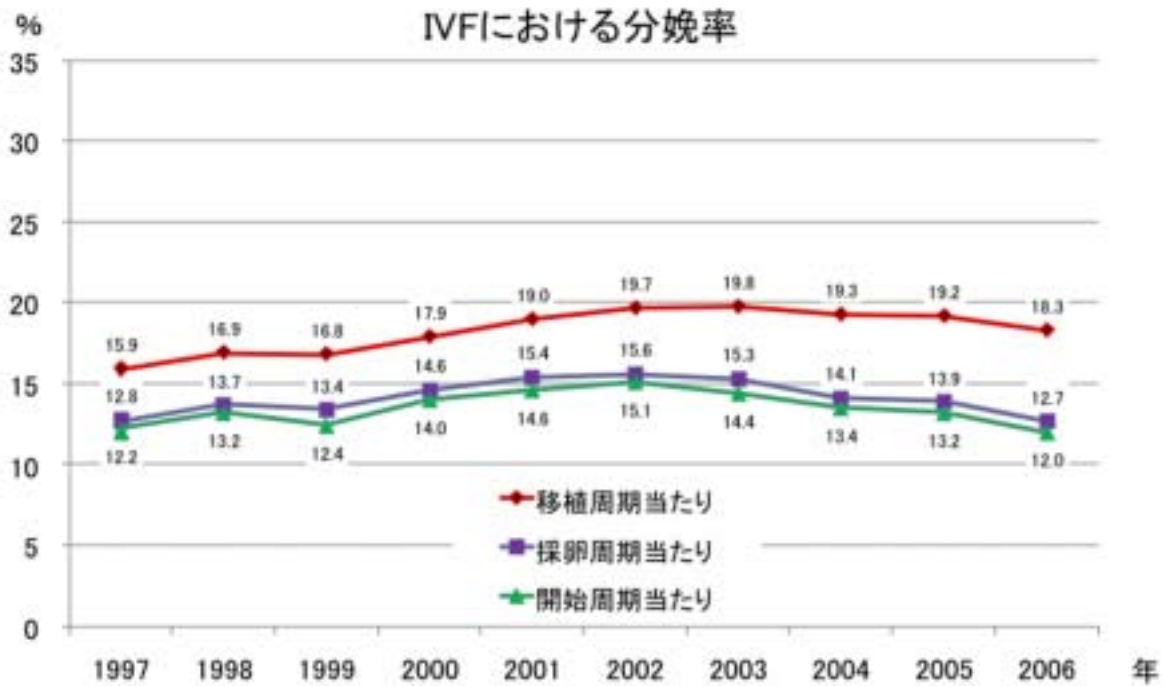
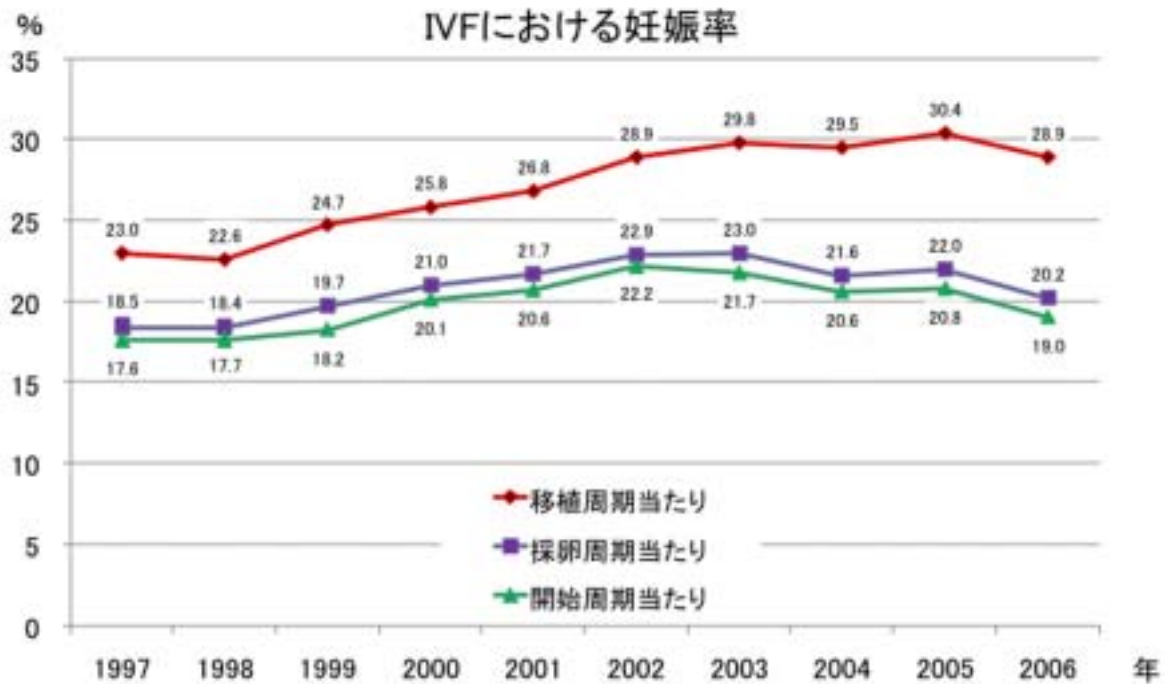
不妊治療を実施する際にまず考えなければならないことは、不妊カップルに不妊治療に関わる適切な情報を提供し、十分な理解を得ることである。個人の自律性が尊重される欧米では、インフォームドコンセントという考えが早くから取り入れられている。わが国の医療情報の開示に関しては問題が指摘されており、患者に過剰な期待を与えたり、大きな失望を与える状況も生み出されている。本日は、不妊カップルが必要とするわが国の ART の臨床成績を内外の成績と対比しながら述べさせて戴く。また、ART に伴うリスクの一つである多胎妊娠に関する内外の状況についても紹介する。

### 1. 各国の ART の臨床成績

#### 1) 各国の IVF の成績の比較

わが国における状況：わが国の IVF の開始周期当たりの分娩率は 12.0%である

わが国における 2006 年に行われた新鮮卵を用いた IVF の臨床成績の報告によると、開始周期当たりの分娩率は 12.0%、採卵周期当たりの分娩率は 12.7%、移植周期当たりの分娩率は 18.3%である。尚、開始周期当たりの妊娠率は 19.0%、採卵周期当たりの妊娠率は 20.2%、移植周期当たりの妊娠率は 28.9%である。



これらの数値は、欧米の ART が普及している国々と比較して、決してよい数値ではない。特に、開始周期当たりの分娩率と採卵周期当たりの分娩率が低く、改善をはかる必要がある。このように IVF において必ずしも満足すべき治療成績が得られていないわが国において、果たして、単一胚移植を義務付けることに問題はないのかという点に関しても、改めて考える必要がある。

アメリカにおける状況：アメリカの IVF と ICSI を含めた開始周期当たりの分娩率は 27.8%である

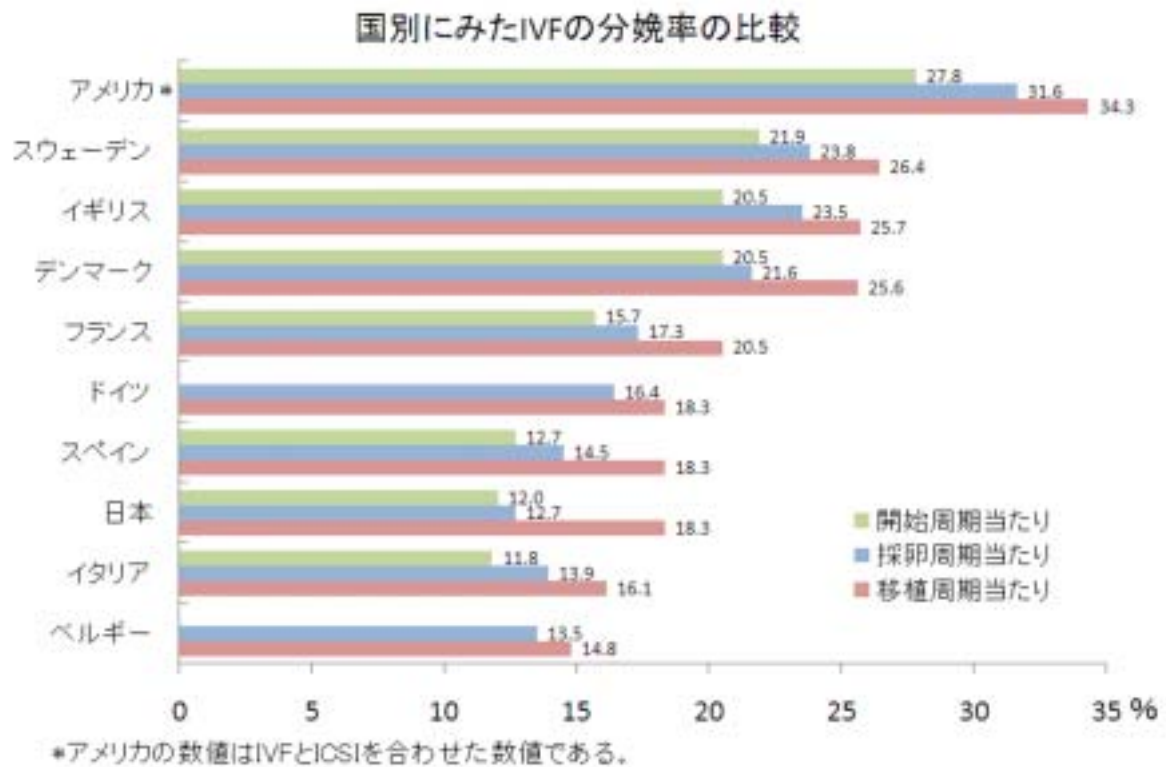
アメリカにおいて 2005 年に行われた ICSI および IVF を含めた自己の新鮮卵を用いた ART において、開始周期当たりの分娩率は 27.8%、採卵周期当たりの分娩率は 31.6%、移植周期当たりの分娩率は 34.3%である。

これらの数値は、ヨーロッパ諸国およびわが国の成績と比較して、極めて高い値である。アメリカにおける 30%をこえる多胎妊娠率を考慮した場合、この結果を直ちに優れた成績と評価するわけにはいかない。

ヨーロッパ諸国における状況：ヨーロッパ諸国の IVF の開始周期当たりの分娩率は 13.4%である

ヨーロッパヒト生殖医学会（ESHRE）から 2008 年 4 月に報告された 2004 年に実施された ART の臨床成績をみると、自己の新鮮卵を用いた IVF における開始周期当たりの分娩率はスウェーデンにおける 21.9%から、イタリアにおける 11.8%まで大きな格差がある。

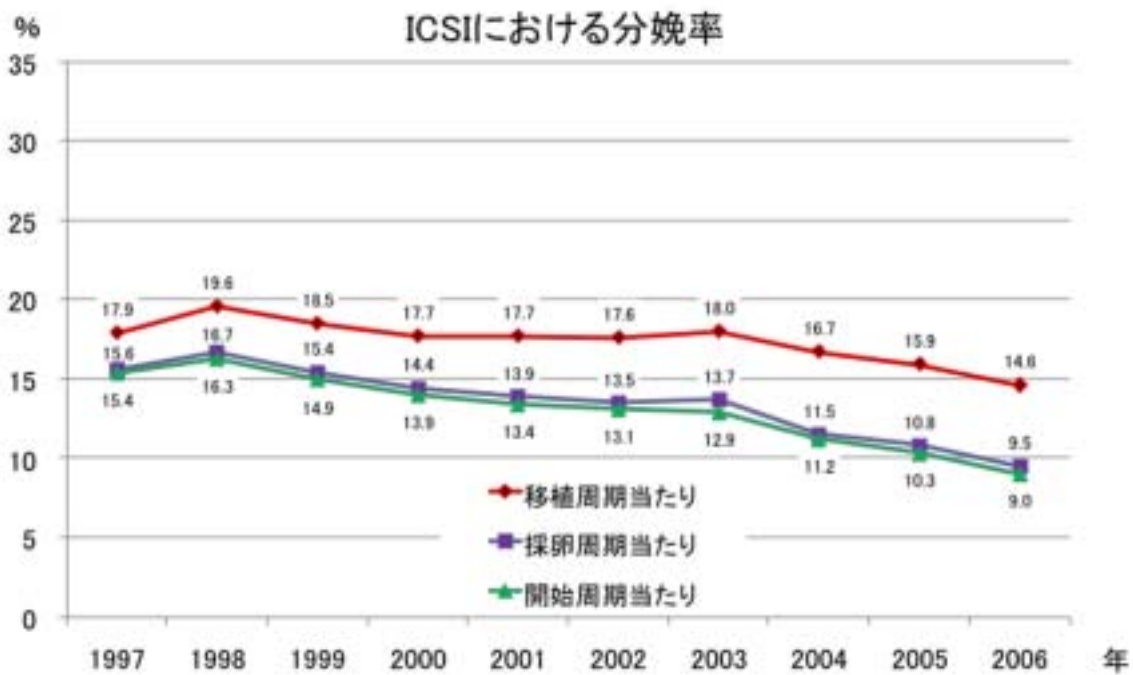
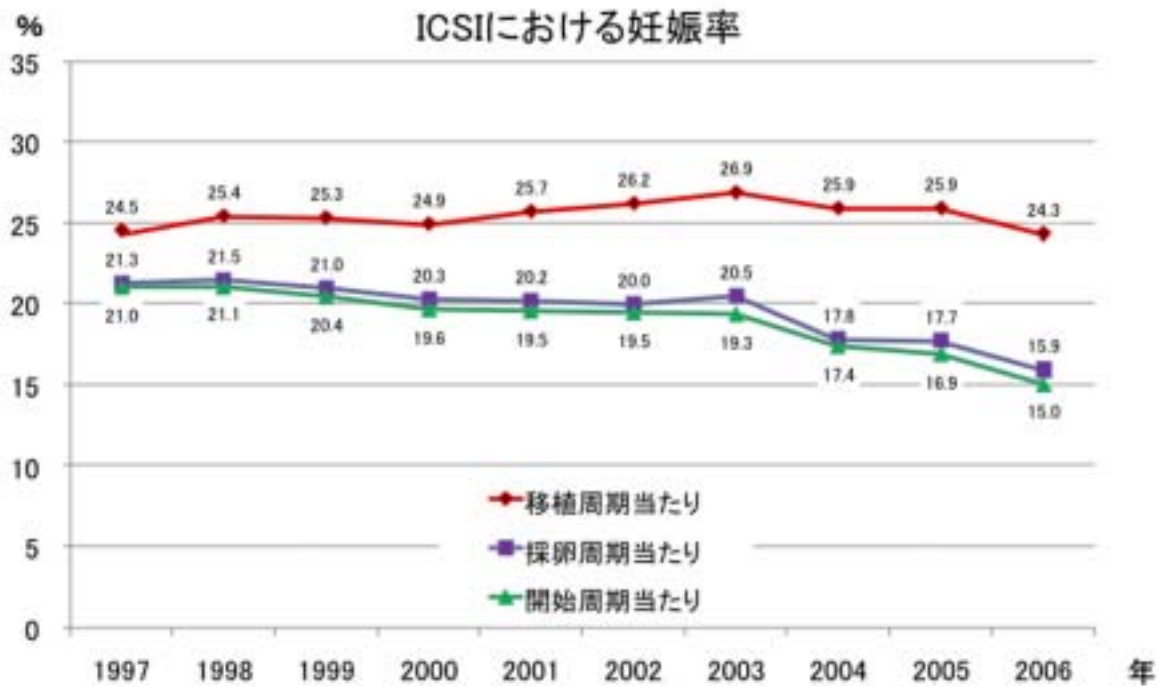
採卵周期当たりの分娩率もスウェーデンにおける 23.8%からベルギーにおける 13.5%まで、移植周期当たりの分娩率もスウェーデンにおける 26.4%からベルギーにおける 14.8%までかなりの格差が認められる。



2) 各国の ICSI の成績の比較

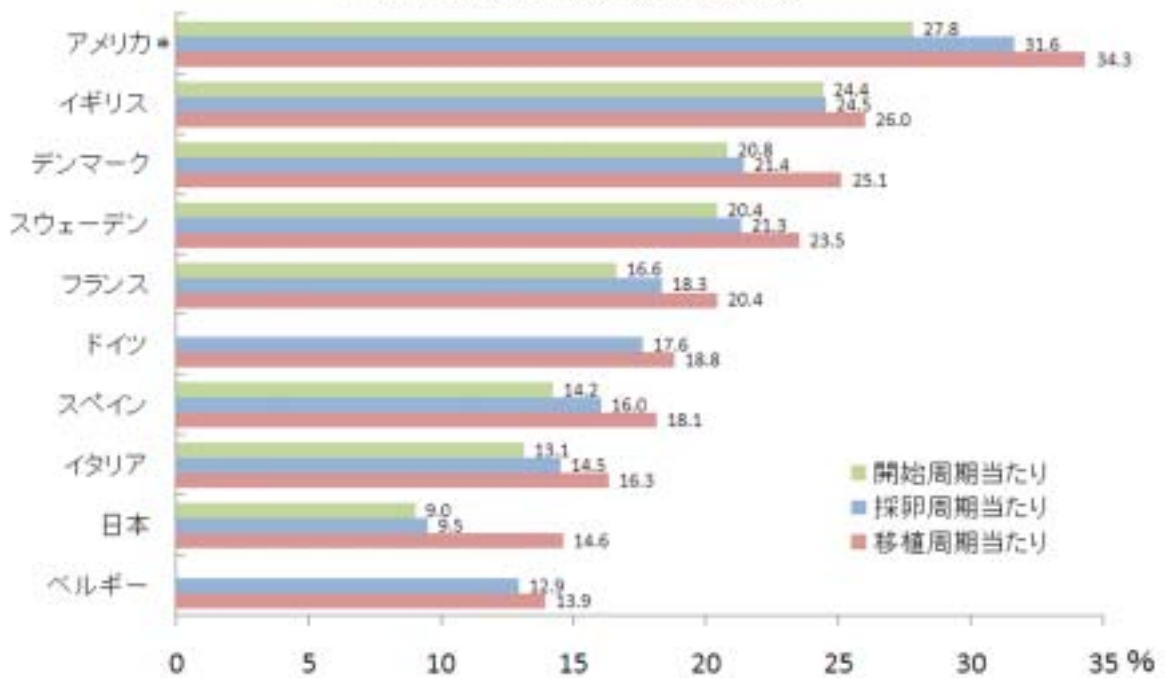
わが国における状況：わが国の ICSI の開始周期当たりの分娩率は 9.0%である

わが国の新鮮卵を用いた ICSI の成績をみると、開始周期当たりの分娩率は 9.0%、採卵周期当たりの分娩率は 9.5%、移植周期当たりの分娩率は 14.6%である。尚、開始周期当たりの妊娠率は 15.0%、採卵周期当たりの妊娠率は 15.9%、移植周期当たりの妊娠率は 24.3%である。



諸外国の臨床成績と比較し、わが国の ICSI の成績は決してよい数値ではない。特に、開始周期当たりの分娩率と採卵周期当たりの分娩率が極めて低く早急な改善が望まれる。

### 国別にみたICSIの分娩率の比較

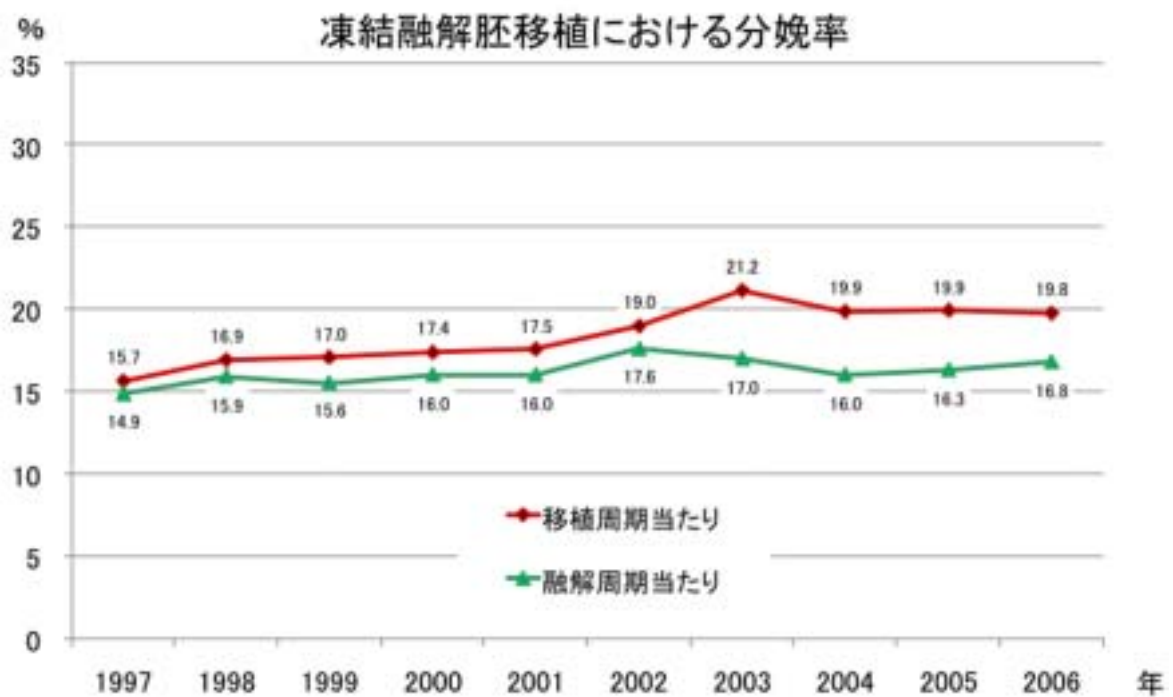


\*アメリカの数値はIVFとICSIを合わせた数値である。

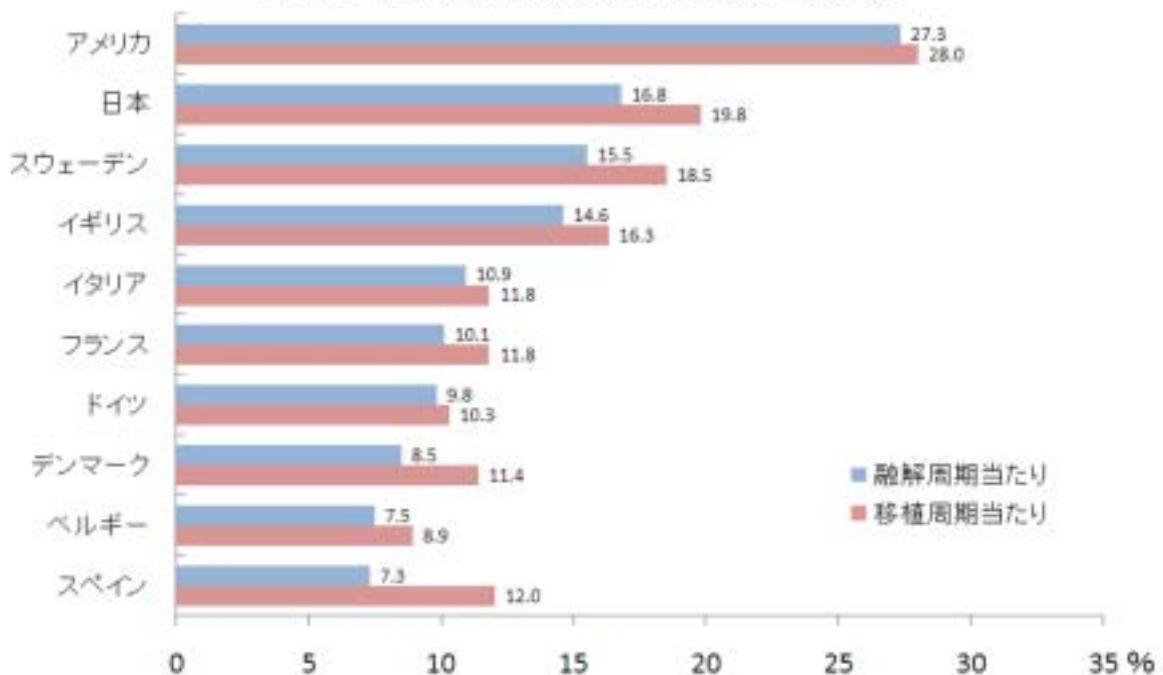
### 3) 各国の凍結融解胚移植の成績の比較

わが国における状況：わが国の融解周期当たりの分娩率は 16.8%である

わが国の凍結融解胚移植の融解周期当たりの分娩率は 16.8%、移植周期当たりの分娩率は 19.8%である。この値はアメリカの治療成績よりはかなり低い値であるが、ヨーロッパ諸国の優れた結果を得ている国々の値とほぼ同様である。尚、融解周期当たりの妊娠率は 28.0%、移植周期当たりの妊娠率は 33.0%である。



国別にみた凍結融解胚移植の分娩率の比較



わが国の凍結融解胚移植の成績は高く評価されるべきものと思われる。しかし、ART を実施している施設のなかで凍結融解胚移植を実施していない施設は 18.1%、妊娠に成功していない施設は 32.5%、分娩に成功していない施設は 37.4%と、その内容には問題がある。

## 2. ART に伴う多胎妊娠の発生状況

### 1) わが国の ART に伴う多胎妊娠の年次推移

公開されている過去数年間の日本産科婦人科学会の登録施設の ART の成績をみると、新鮮胚移植に伴う多胎妊娠率は体外受精 13.7 ~ 19.2%、顕微授精 12.3 ~ 16.7%、凍結融解胚移植 11.0 ~ 15.0%となっている。この数年間は確実に低下してきている。

しかし、この値は自然妊娠における多胎妊娠率 1.0 ~ 1.25%を大きく上回り、10 倍から 20 倍にも達する高い値である。

多胎妊娠率の推移

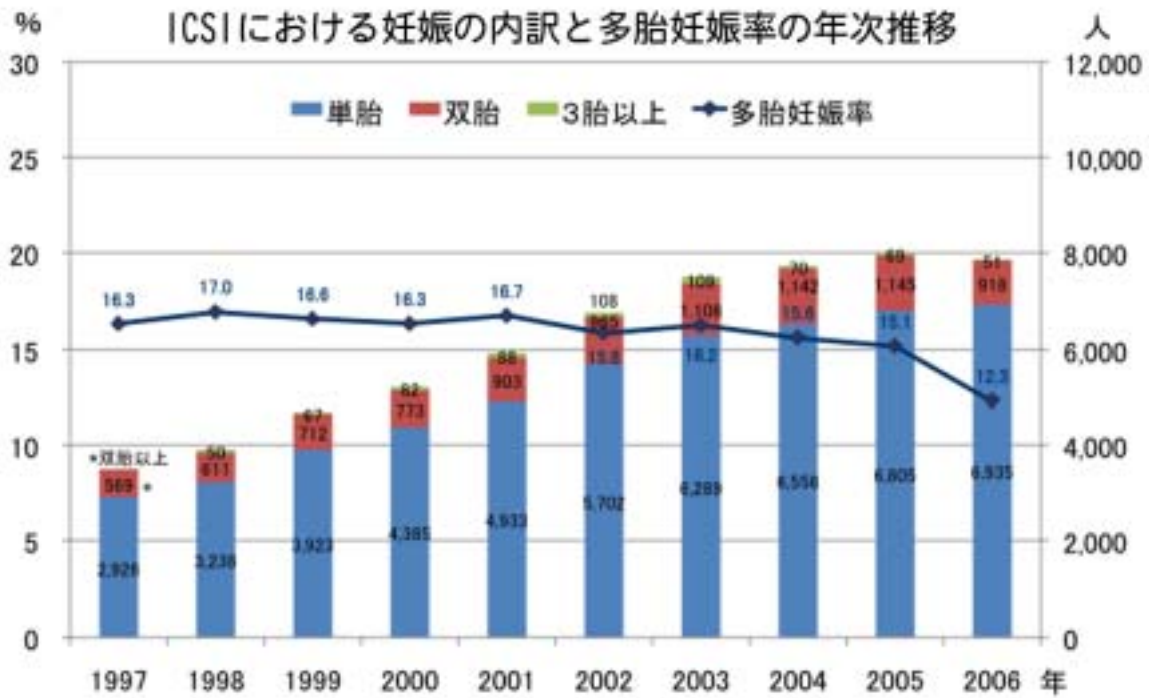


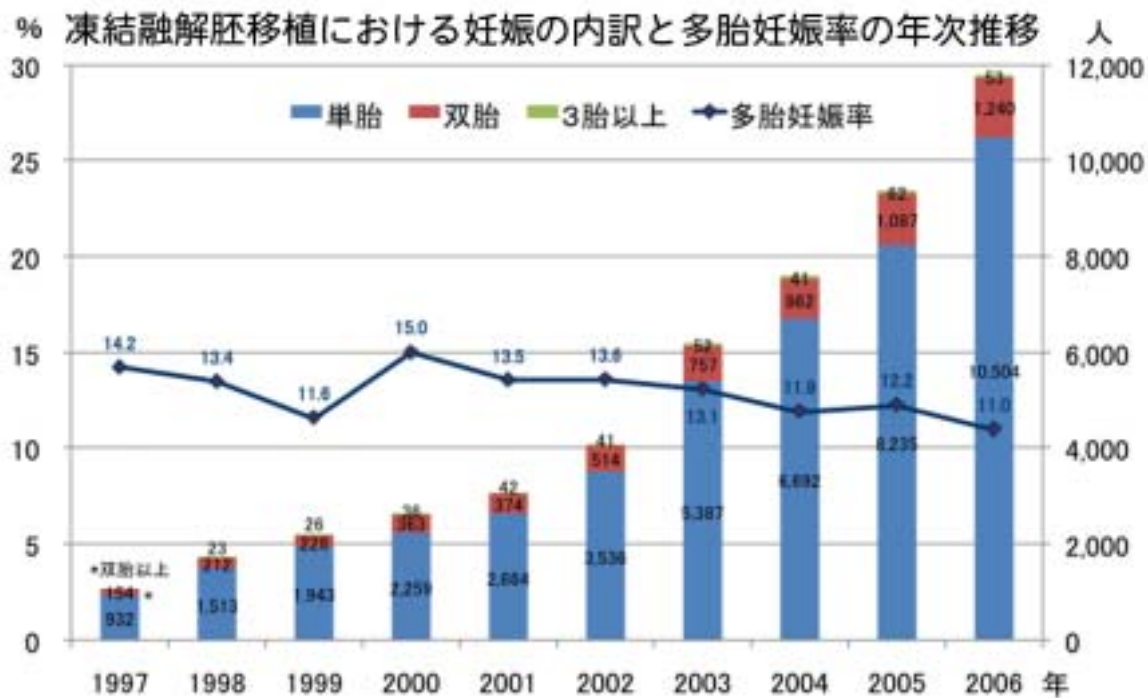
2) 各国の多胎妊娠と多胎分娩の状況の比較

わが国における状況：わが国の ART の多胎妊娠率は 12.1%である

わが国における 2006 年に行われた ART の臨床成績の報告によると、単胎妊娠率は 87.9%、多胎妊娠率は 12.1%、その内訳は双胎妊娠率 11.4%、3 胎以上の高次多胎妊娠率 0.6%となっている。多胎妊娠率は IVF では 13.7%、ICSI では 12.3%、凍結融解胚移植では 11.0%である。







わが国の多胎妊娠率は世界の主要国の値と比較して決して高い値ではない。尚、わが国の全国統計には多胎妊娠率は発表されているが、多胎分娩率は発表されていないため、内外の多胎分娩率の比較はできない。

アメリカにおける状況：アメリカにおける ART の多胎分娩率は 32.0%である

アメリカにおける 2005 年に行われた ART の臨床成績の報告によると、単胎妊娠率は 67.1%、多胎妊娠率は 32.9%、その内訳は双胎妊娠率 28.5%、3 胎以上の高次多胎妊娠率 4.4%となっている。

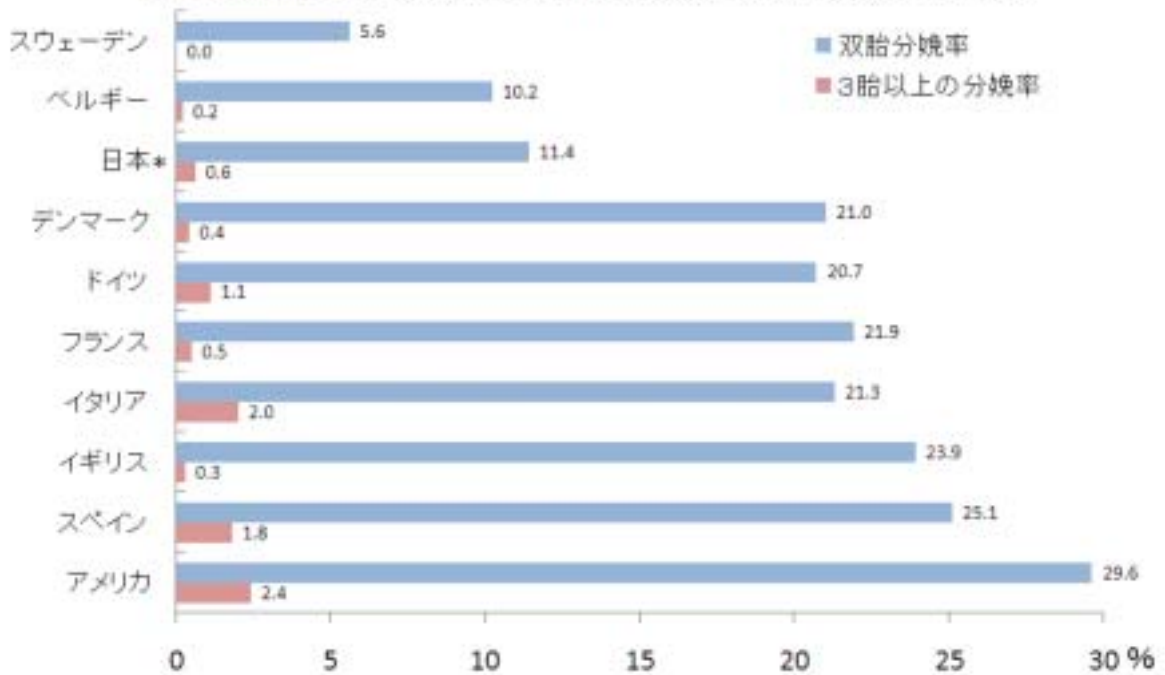
また、単胎分娩率は 68.0%、多胎分娩率は 32.0%、その内訳は双胎分娩率 29.6%、3 胎以上の高次多胎分娩率 2.4%となっている。

ヨーロッパ諸国における状況：ヨーロッパ諸国の多胎分娩率は 22.7%である

ヨーロッパヒト生殖医学会 (ESHRE) から 2008 年 4 月に報告された 2004 年に実施された ART の臨床成績の報告によると、単胎分娩率は 77.2%、多胎分娩率は 22.7%、その内訳は双胎分娩率 21.7%、3 胎以上の高次多胎分娩率 1.0%となっている。

この数値は ESHRE に参加している全ての国を対象として得られたものである。その内容をみると国によって大きな差違が認められる。

ESHRE主要国、アメリカおよび日本における多胎分娩率の比較



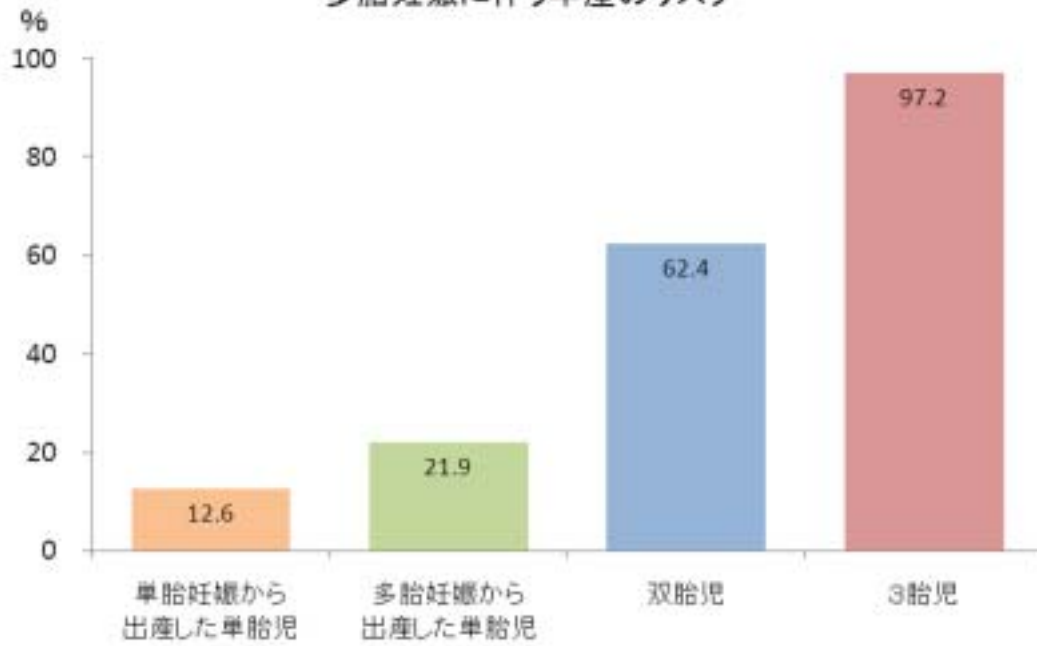
\*わが国の数値は妊娠率である。

### 3. 多胎妊娠に伴う母児のリスク

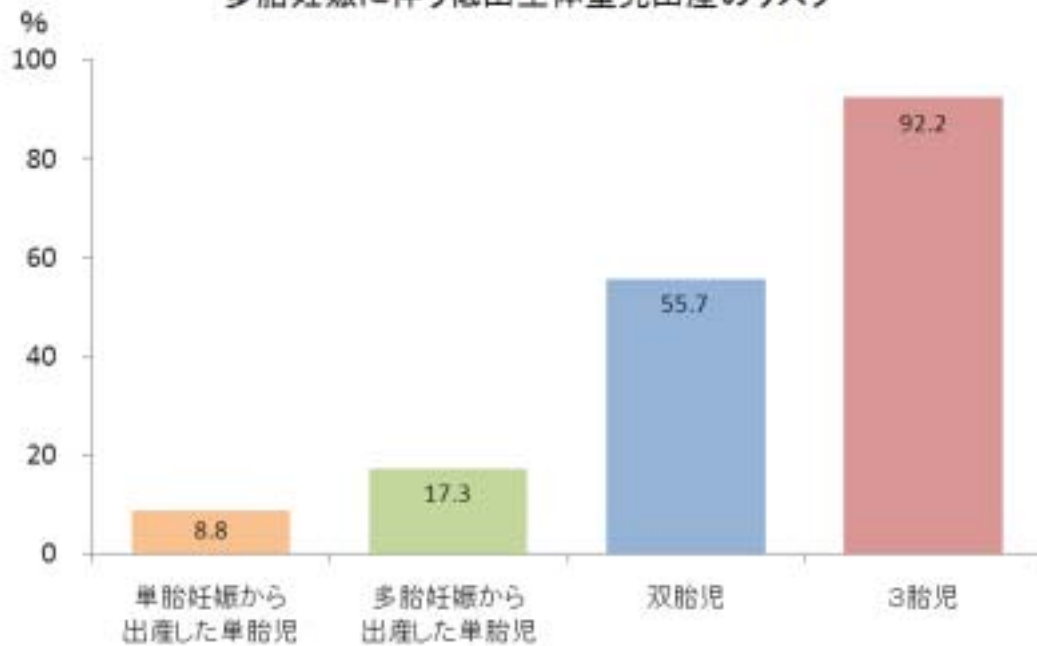
多胎妊娠に伴って母児にいろいろなリスクが高まることは周知の事実である。単胎妊娠に比べ、双胎妊娠においては流産、早産、低出生体重児の出産、妊娠中毒症、妊娠高血圧、分娩後出血、妊娠糖尿病、手術分娩、未熟児出産、脳性麻痺などのリスクは有意に上昇する (Seoud ら、1992 ; Yokoyama ら、1995 ; Stromberg ら、2002)。このような合併症のために周産期死亡率は6倍にも達すると報告されている (Lieberman、1998)。

親に対しても多胎児の保育は、身体的、心理的に多くの負担を強いることになる (Doyle、1996 ; Garel ら、1997)。また、多胎児の周産期のケアに伴い大きな経済的負担も求められる (Goldfarb ら、1996)。

多胎妊娠に伴う早産のリスク



多胎妊娠に伴う低出生体重児出産のリスク



#### 4. 諸外国における ART に伴う多胎妊娠への対応

##### 世界的にみると依然として 2 個胚移植を採用している国が多い

多胎妊娠を回避する最も有効な対応法は選択的単一胚移植である。しかし、世界的にみても依然として 2 個胚移植を勧める国が多い。オーストラリア、フィンランド、イスラエル、オランダ、ニュージーランド、イギリスなどでは 2 個胚移植が勧められている。年齢によっても至適移植胚数は異なり、それぞれの国でガイドラインが定められている。

イギリスにおいては、2001 年、ART を管理する国の諮問機関である HFEA が原則として 2 個胚移植を採用し、3 個胚移植は例外的なケースに限るべきだと勧告した。その後、3 個胚移植を行う周期の割合の減少をみたが、かなりのクリニックにおいて依然として 3 個胚移植が行われている。

##### スウェーデンでは 2003 年には原則としてすべて単一胚移植を行うという決定を下した

選択的単一胚移植はスウェーデンとベルギーで最初に導入された。スウェーデンでは早くから 2 個胚移植が採用され、2002 年からは、特別な状態でなければ 1 個胚移植が勧められている。

2003 年には、スウェーデンの国立保健局では予後が不良であると予測された症例を除き、すべて単一胚移植を行うという決定を下した。その結果、約 70% に単一胚移植が行われるまでになった。

##### ベルギーでは年齢や施行回数で移植胚数が制限されているが、6 周期まで公的資金が適用される

ベルギーでは年齢や施行回数によって移植胚数が決定されている。2004 年のベルギーにおける指針では年齢によって 3 つのグループに分けられている。

32 歳未満の患者には最初の 2 周期は単一胚移植を、3 ~ 6 周期には 2 個胚移植を、また 36 ~ 39 歳の患者には最初の 2 周期は最高 2 個胚移植まで、3 ~ 6 周期では最高 3 個胚移植までと定められている。

39 歳をこえた場合には 1 周期目から 3 個胚までと定められている。ベルギーでは 6 周期まで公的資金が適用されるようになっている。

#### 5. わが国における多胎妊娠への対応

##### 2008 年 4 月に示された日本産科婦人科学会の「多胎妊娠防止に関する見解」の解釈

「移植する胚は原則として単一とする。ただし、35 歳以上の女性、または 2 回以上続けて妊娠不成立であった女性などについては、2 胚移植を許容する」という文言について、医師や不妊カップルは以下のように解釈する可能性がある。

「35 歳未満の女性においては、1 回目および 2 回目の胚移植は必ず単一胚移植を施行しなくてはならない。しかし、1 回目および 2 回目の胚移植で妊娠が成立しない場合、3 回目以降の胚移植では 2 個胚移植が認められる。35 歳以上の女性では、初回の胚移植から 2 個胚移植が認められる。

会告の中の回数は移植回数を意味するとも解され、初回の採卵で複数の凍結胚が得られた場合には、初回の凍結融解胚移植は 2 回目と解され、2 度目の凍結融解胚移植からは 2 個胚移植が認められる」

会告や指針を示す際には、解釈に疑義が生じないような文言が必要である。

6. 移植胚数の制限の妥当性とその科学的根拠

選択的単一胚移植は双胎妊娠率を顕著に低下させる優れた方法である

いくつかの無作為対照試験において、2 個胚移植に比べ選択的単一胚移植において、双胎妊娠率を顕著に低下させることができる優れた方法であることが確認されている。

一方、選択的単一胚移植は妊娠率を低下させ、妊娠成立あるいは出産までに長い期間を要し、不妊カップルに経済的負担とストレスをもたらすことになるのではないかと危惧するものもある。

今まで、研究者によって多様なデータが報告されており、不妊カップルにどのような情報を提供すべきであるかという点に関し、混乱が生じているのではないと思われる。

以下、移植胚数の制限に関するいろいろな研究結果とその臨床的意義について述べる。

条件によって、選択的単一胚移植あるいは2 個胚移植を選択する方法も試みられている

無作為対照試験のメタアナリシスのデータでは、2 個胚移植と比べ選択的単一胚移植における妊娠率のオッズ比は 0.48、分娩率のオッズ比は 0.53 と有意な低下をみたという結果が報告されている (Bhattacharya ら、2004)。

無作為対照試験のメタアナリシスの結果 (初回の ART のみを対象とした検討)

比較	オッズ比 (95%信頼区間)
選択的2 個胚移植 対 選択的単一胚移植	( 選択的2 個胚移植が上回っている場合は 1 をこえる )
臨床的妊娠率 ( 241/453 : 158/456 )	2.16 ( 1.65 - 2.82 )
分娩率 ( 197/453 : 130/456 )	1.92 ( 1.47 - 2.55 )
多胎妊娠率 ( 67/264 : 3/254 )	23.55 ( 8.00 - 69.29 )
選択的2 個胚移植 対 選択的単一胚移植 + 単一凍結融解胚移植	( 選択的2 個胚移植が上回っている場合は 1 をこえる )
臨床的妊娠率 ( 174/331 : 158/330 )	1.21 ( 0.89 - 1.64 )
分娩率 ( 142/331 : 128/330 )	1.19 ( 0.87 - 1.62 )
多胎妊娠率 ( 47/142 : 1/128 )	62.83 ( 8.52 - 463.57 )

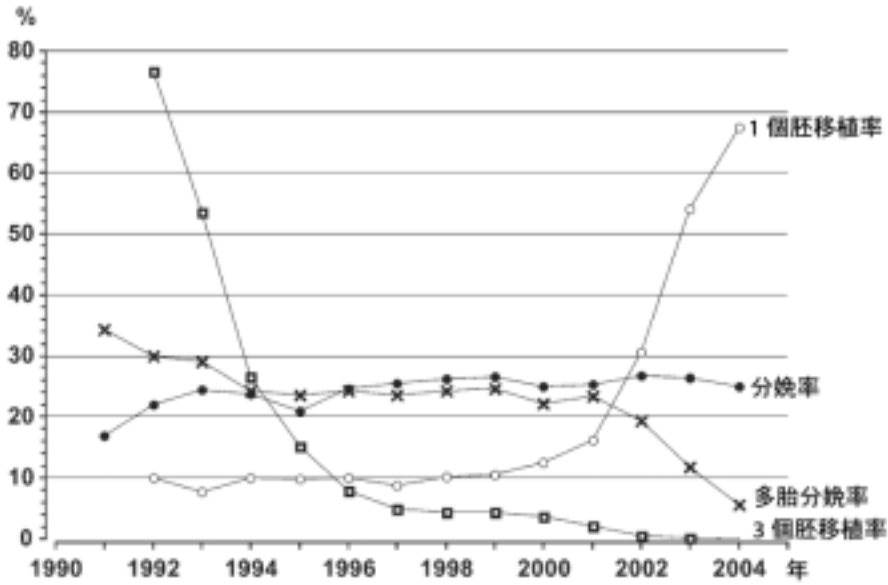
妊孕性が高いと判定される一定の条件を満たした場合には、選択的単一胚移植を選択したとしても、2 個胚移植とほぼ同様な妊娠率あるいは分娩率が得られるという報告もある。

スウェーデンにおける原則的選択的単一胚移植の法制化から学ぶ

2003 年、スウェーデンでは原則的選択的単一胚移植の実施が法制化され、約 70% に単一胚移植が行われるようになったが、移植周期当たりの臨床的妊娠率および分娩率の低下は認められていない (Saldeen ら、2005)。

しかし、2003 年の法制化前の 3 個胚移植の時期、2 個胚移植の時期、および法制化後の選択的単一胚移植が中心となった時期の双胎妊娠率は、それぞれ 22.6%、16.3%、6.2% と単一胚移植に伴って顕著な低下をみている。このような良好な結果が、ART の質の差違、即ち、成功率に格差のある国においても得られるか否かが、大きな問題である。

スウェーデンにおける移植胚数と臨床成績の年次推移

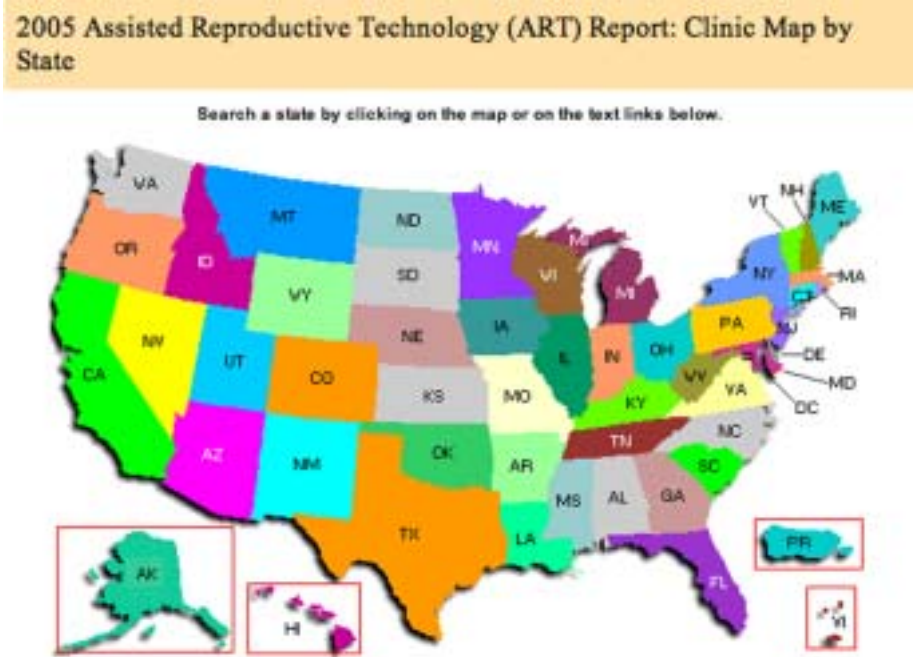


7. ART に関する情報の開示の必要性

ART が適正に評価され広く社会に受け入れられるためには、ART に関する情報が不妊患者および ART 実施機関に公開され、どのような医療が望ましいかという点に関し広く議論する必要がある。

アメリカにおいては、「各医療機関の ART に関する情報を収集し公開することを定めた法律」が 1992 年に発効した。その結果、CDC のホームページに全国統計と共に各医療機関の ART の成績が毎年掲載されるようになった。

ART 施設の検索：希望の州をクリックすると施設の一覧が表示される。





ART 施設の一覧表 : (例) ニューヨーク州

2005 Assisted Reproductive Technology (ART) Report: State Clinics List

[Back to State lookup page](#)

Clinic Name	Clinic City	Clinic State
<a href="#">ALBANY IVF, FERTILITY AND GYNECOLOGY</a>	ALBANY	NEW YORK
<a href="#">LEADING INSTITUTE FOR FERTILITY ENHANCEMENT (LIFE)</a>	ALBANY	NEW YORK
<a href="#">GENESIS FERTILITY &amp; REPRODUCTIVE MEDICINE</a>	BROOKLYN	NEW YORK
<a href="#">THE FERTILITY INSTITUTE AT NEW YORK METHODIST HOSPITAL</a>	BROOKLYN	NEW YORK
<a href="#">INFERTILITY &amp; IVF MEDICAL ASSOCIATES OF WESTERN NEW YORK</a>	BUFFALO	NEW YORK
<a href="#">DIVISION OF REPRODUCTIVE ENDOCRINOLOGY SUNY STONY BROOK</a>	EAST SETAUKET	NEW YORK
<a href="#">MONTEFIORE'S INSTITUTE FOR REPRODUCTIVE MEDICINE AND HEALTH</a>	HARTSDALE	NEW YORK
<a href="#">NORTH SHORE UNIVERSITY HOSPITAL CENTER FOR HUMAN REPRODUCTION</a>	MANHASSET	NEW YORK
<a href="#">REPRODUCTIVE SPECIALISTS OF NEW YORK</a>	MINEOLA	NEW YORK
<a href="#">ADVANCED FERTILITY SERVICES</a>	NEW YORK	NEW YORK
<a href="#">AMERICAN FERTILITY SERVICES, PC</a>	NEW YORK	NEW YORK
<a href="#">BETH ISRAEL CENTER FOR INFERTILITY &amp; REPRODUCTIVE HEALTH</a>	NEW YORK	NEW YORK
<a href="#">BROOKLYN WESTSIDE FERTILITY CENTER BROOKLYN FERTILITY CENTER</a>	NEW YORK	NEW YORK
<a href="#">COLUMBIA UNIVERSITY CENTER FOR WOMEN'S REPRODUCTIVE CARE</a>	NEW YORK	NEW YORK
<a href="#">IVF NEW YORK</a>	NEW YORK	NEW YORK
<a href="#">MANHATTAN REPRODUCTIVE MEDICINE</a>	NEW YORK	NEW YORK
<a href="#">MEDICAL OFFICES FOR HUMAN REPRODUCTION CENTER FOR HUMAN REPRODUCTION (CHR)</a>	NEW YORK	NEW YORK
<a href="#">NEW HOPE FERTILITY CENTER</a>	NEW YORK	NEW YORK
<a href="#">NEW YORK FERTILITY INSTITUTE</a>	NEW YORK	NEW YORK
<a href="#">NYU FERTILITY CENTER NEW YORK UNIVERSITY SCHOOL OF MEDICINE</a>	NEW YORK	NEW YORK
<a href="#">OFFICES FOR FERTILITY AND REPRODUCTIVE MEDICINE</a>	NEW YORK	NEW YORK
<a href="#">REPRODUCTIVE CARE OF NY</a>	NEW YORK	NEW YORK
<a href="#">REPRODUCTIVE ENDOCRINOLOGY ASSOCIATES OF ST. LUKE'S ROOSEVELT HOSPITAL CENTER</a>	NEW YORK	NEW YORK
<a href="#">REPRODUCTIVE MEDICINE ASSOCIATES OF NEW YORK, LLP</a>	NEW YORK	NEW YORK



ART 施設の臨床成績 : (例) NY 州 Albany IVF における臨床成績

2005 Assisted Reproductive Technology (ART) Report: Clinic Data by State

ALBANY IVF, FERTILITY AND GYNECOLOGY

ALBANY, NEW YORK

A comparison of clinic success rates may not be meaningful because patient medical characteristics and treatment approaches vary from clinic to clinic.

2005 ART CYCLE PROFILE

Type of ART <sup>§</sup>	Procedural Factors:		Patient Diagnosis				
IVF	100%	With ICSI	90%	Tubal factor	24%	Other factor	<1%
GIFT	0%	Unstimulated	0%	Ovulatory dysfunction	9%	Unknown factor	16%
ZIFT	0%	Used gestational carrier	0%	Diminished ovarian reserve	25%	Multiple Factors:	
Combination	0%			Endometriosis	1%	Female factors only	7%
				Uterine factor	<1%	Female & male factors	1%
				Male factor	15%		

2005 PREGNANCY SUCCESS RATES

Data verified by Peter M. Horvath, MD

Type of Cycle	Age of Woman			
	<35	35-37	38-40	41-42 <sup>§</sup>
<b>Fresh Embryos from Nondonor Eggs</b>				
Number of cycles	53	45	31	11
Percentage of cycles resulting in pregnancies <sup>§</sup>	39.8	29.0	16.1	1 / 11
Percentage of cycles resulting in live births <sup>§,§</sup>	19.3	15.6	3.2	0 / 11
(Confidence Interval)	(11.4–29.4)	(6.5–29.6)	(0.1–16.7)	
Percentage of retrievals resulting in live births <sup>§,§</sup>	19.8	16.3	3.7	0 / 10
Percentage of transfers resulting in live births <sup>§,§</sup>	21.1	17.1	4.8	0 / 7
Percentage of transfers resulting in singleton live births <sup>§</sup>	10.5	14.6	4.8	0 / 7
Percentage of cancellations <sup>§</sup>	2.4	4.4	12.9	1 / 11
Average number of embryos transferred	2.8	2.8	2.9	2.6
Percentage of pregnancies with twins <sup>§</sup>	36.4	2 / 13	0 / 5	0 / 1
Percentage of pregnancies with triplets or more <sup>§</sup>	15.2	2 / 13	0 / 5	0 / 1
Percentage of live births having multiple infants <sup>§,§</sup>	8 / 16	1 / 7	0 / 1	
<b>Frozen Embryos from Nondonor Eggs</b>				
Number of transfers	12	5	2	3
Percentage of transfers resulting in live births <sup>§,§</sup>	0 / 12	0 / 5	1 / 2	0 / 3
Average number embryos transferred	2.7	2.6	2.5	3.0
			<b>All Ages Combined <sup>§</sup></b>	
<b>Donor Eggs</b>			<b>Fresh Embryos</b>	<b>Frozen Embryos</b>
Number of transfers			11	2
Percentage of transfers resulting in live births <sup>§,§</sup>			3 / 11	0 / 2
Average number of embryos transferred			3.0	3.5

イギリスにおいては、「ART を統括する HFEA 設置に関する法律」が 1990 年に発効した。その結果、HFEA のホームページに ART の全国統計と共に各医療機関の ART の成績が毎年掲載されるようになった。

ART 施設の臨床成績：(例) King's College Hospital における臨床成績

Assisted Conception Unit, King's College Hospital

[Clinic details](#)
[Services offered](#)
[Success rates](#)
[National success rates](#)

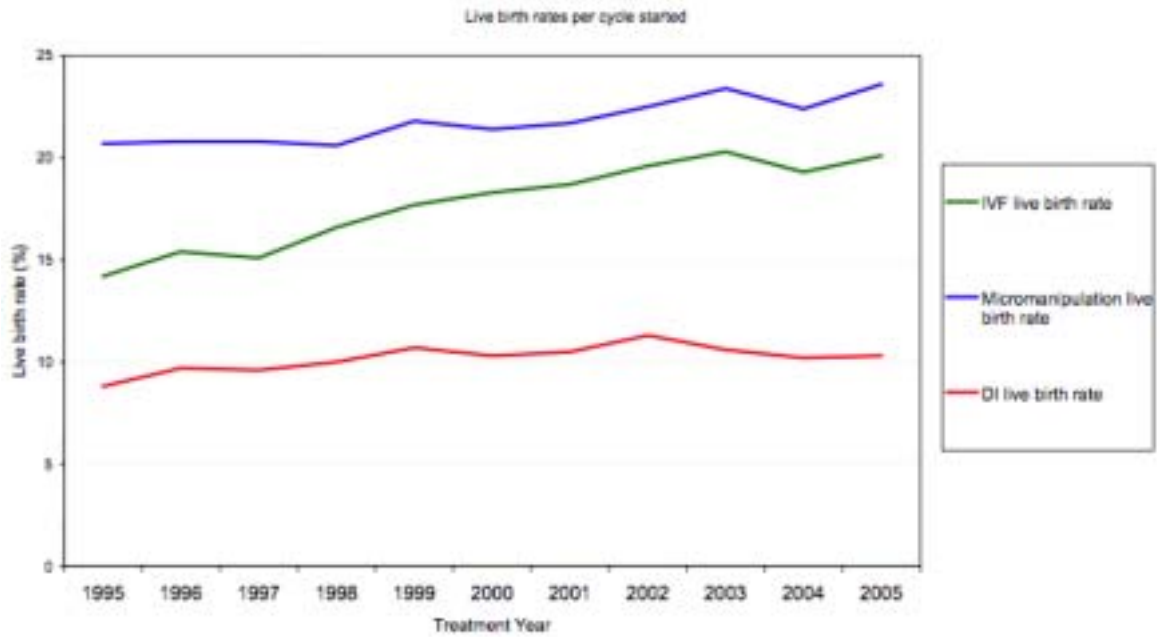
[IVF & ICSI graph](#)
[IVF & ICSI data](#)
[IVF & ICSI donated eggs](#)
[Donor insemination](#)
[Pregnancy rates](#)

[Compare to national success rates](#) | [Key to symbols](#)

**IVF & ICSI live birth rate - own eggs**  
 Percentage of ICSI (54%) vs IVF (46%).  
 Live Birth Rate (per cycle started) - 2005 Data

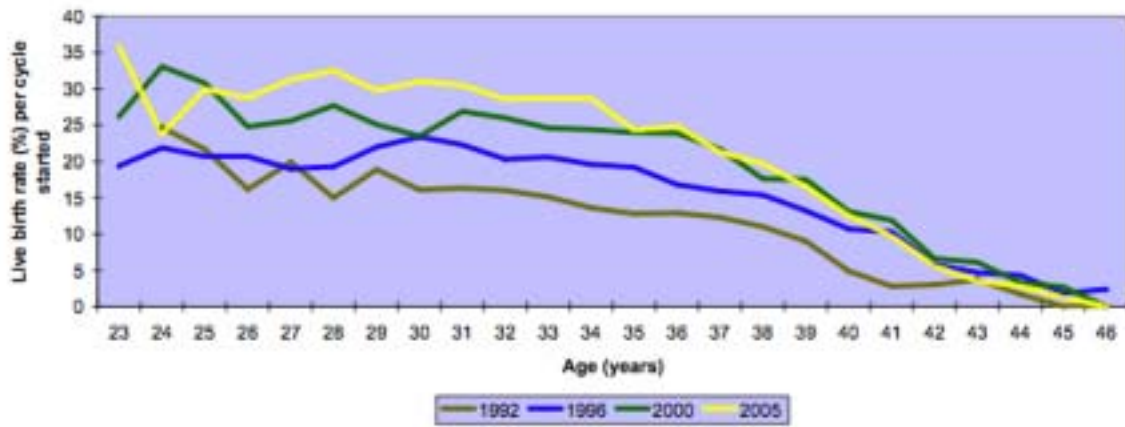
Fresh eggs	Below 35	35-37	38-39	40-42	43-44	Over 44
Cycles started	19.2% (53/276)	16.9% (24/143)	14.5% (11/76)	3.0% (2/55)	++ (2/4)	++ (2/5)
Egg collections	24.1% (53/220)	19.7% (24/122)	15.5% (11/71)	++ (2/49)	++ (2/4)	++ (2/4)
Embryo transfers	25.4% (53/209)	20.6% (24/117)	16.2% (11/68)	++ (2/42)	++ (2/4)	++ (2/4)
Implantation rate <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">?</span>	22.1% (99/402)	17.4% (39/224)	11.9% (15/126)	4.1% (4/97)	++ (2/10)	++ (2/7)
Singleton live births	13.8% (35/276)	11.9% (17/143)	11.9% (9/76)	1.8% (1/55)	0	0
Twin live births	5.1% (14/276)	4.9% (7/143)	2.6% (2/76)	1.8% (1/55)	0	0
Triple & higher live births	0.4% (1/276)	0	0	0	0	0
Frozen embryos	Below 35	35-37	38-39	40-42	43-44	Over 44
Thaw cycles	++ (3/20)	++ (2/12)	++ (2/7)	++ (2/4)	++ (1/2)	NA
Embryo transfers	++ (3/20)	++ (2/12)	++ (2/7)	++ (2/4)	++ (1/2)	NA
Implantation rate <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">?</span>	++ (6/37)	++ (3/22)	++ (2/12)	++ (2/8)	++ (1/5)	NA
Singleton live births	++ (2/20)	++ (2/12)	0	++ (2/4)	++ (1/2)	0
Twin live births	++ (1/20)	0	0	0	0	0
Triple & higher live births	0	0	0	0	0	0

イギリスにおける ART の臨床成績の年次推移

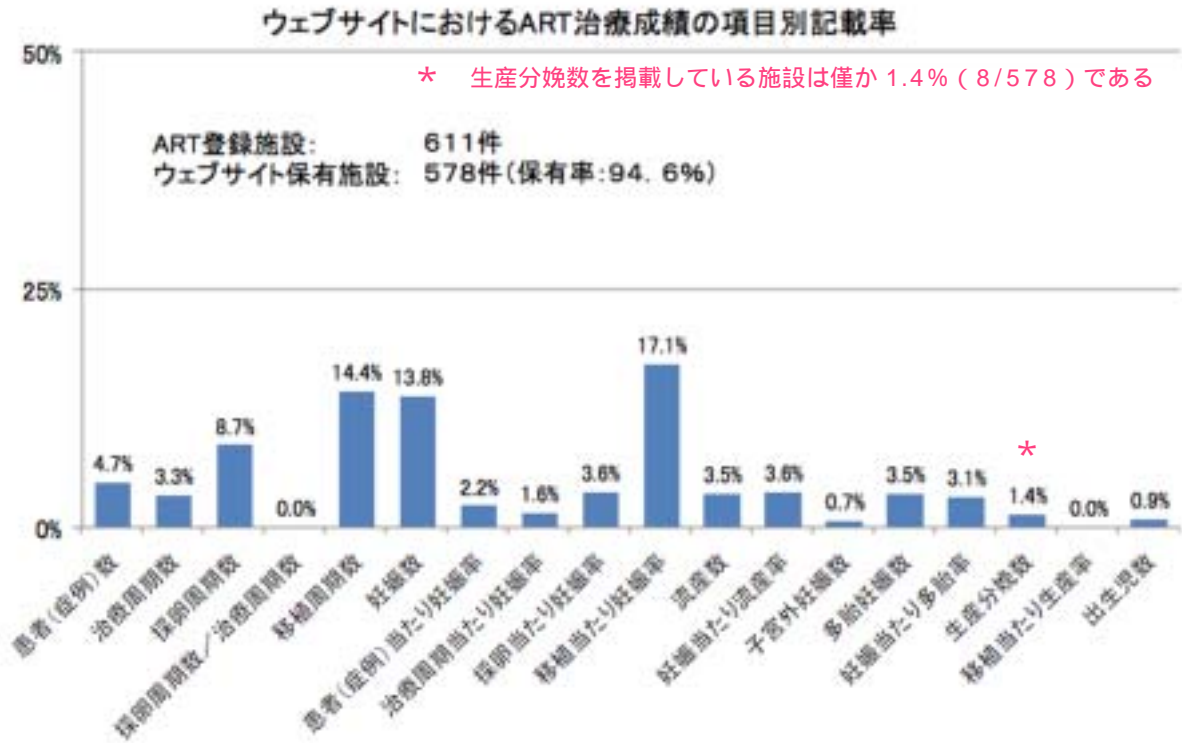


年齢別にみた IVF および ICSI の開始周期当たりの生児出産率

Do success rates differ with patient age for women who have IVF or ICSI?



わが国では ART 施設は日本産科婦人科学会への登録と臨床成績の自主報告が義務付けられている。しかし、各 ART 実施施設の情報は開示されていない。ART 登録施設において適切な情報をホームページに掲載しているわが国の ART 登録施設は極少数である。



不妊カップルの自律的意思決定を尊重するという視点から、欧米で採用されている各医療機関の個別的情報の開示も求められるのではないかとと思われる。

おわりに

ART の実施にあたっては、科学的根拠に則った見通しを示し、不妊カップルの理解を得る必要がある。そのためには、出産までの見通しと、費用対効果を示し、不妊カップルの理解と同意、即ち、インフォームド - コンセントが必須の条件である。

わが国では ART の登録施設の中で日本産科婦人科学会の会告を順守し、不妊カップルに適切なケアを提供できる施設は約 8 割、しかし、質の高いケアを提供できる施設は必ずしも多くはないのではないかとと思われる。今後、ART に関する適切な情報を開示し、不妊カップルに無用な不安と過剰な期待を与えないシステムを整える必要がある。